

第 37 回交通工学研究発表会 開催のお知らせ

第 37 回交通工学研究発表会につきましては、各分野の研究者・実務者から多数の論文応募を頂き、下記のとおり開催する運びとなりました。会員の皆様方をはじめ関係各位多数のご聴講と活発なご意見の交換を期待しておりますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、当会での自主研究活動の報告、並びに受託研究のご案内の機会を設けました。研究発表会にご参加の方々には交通工学研究会の活動を知って頂く機会として、多くの方々にご参加いただきますようお願いいたします。

第 37 回交通工学研究発表会

1. 主催 : 一般社団法人 交通工学研究会
2. 開催日 : 平成 29 年 8 月 8 日(火) ~ 9 日(水) [受付開始 : 1 日目は 9 時 30 分、2 日目は 9 時 00 分より]
3. 会場 : 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 (東京都千代田区神田駿河台 1-8-14)
JR 中央・総武線御茶ノ水駅 徒歩 3 分、東京メトロ新御茶ノ水駅 徒歩 3 分、都営新宿線小川町駅 徒歩 4 分
4. プログラム : 当会 WEB ページでご確認ください。
5. 参加費 : 発表者、聴講者 共通 (いずれも論文集代 (CD-ROM)、消費税を含む)
請求払い : 交通工学研究会 会員 6,172 円 学生会員 3,086 円 非会員 9,257 円
請求書を発行しますので、郵便振替または銀行振込でお手続きください。振込手数料はご負担ください。
現金払い : 交通工学研究会 会員 6,300 円 学生会員 3,200 円 非会員 9,400 円
当日会場受付で現金でお支払い願います。お釣りの無いようご準備願います。
お申込み後の支払い方法の変更はご遠慮願います。
6. 申込方法 : 参加申込書にご記入の上、当会宛に FAX または郵送願います。メールでお申込みされる場合は、参加申込書を参考に必要事項を記入の上、メールタイトルを「第 37 回交通工学研究発表会申込」とし、entry@jste.or.jp 宛にお申込みください。
7. お 願 い : 当日の参加申込みは、受付の混雑時にはお待ちいただく事もございますので、事前にお申込みをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。会場で論文の打ち出し原稿の配布は行っておりませんので、各自で印刷やパソコンへのダウンロード等のご準備をお願いいたします。

交通工学研究発表会 懇親会 平成 29 年 8 月 8 日(火)18 時 00 分 ~

交通工学研究発表会では、参加者及び会員相互の親睦を深めることを目的に懇親会を行っており、毎回ご出席された皆様方には大変ご好評を頂いております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

開催日 : 平成 29 年 8 月 8 日(火) プログラム終了後から

会場 : 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 2 階 カフェテリア(学生食堂)

会 費 : 3,000 円 (消費税込。立食形式です。当日懇親会場にて現金でお支払い願います。)

申込方法 : 発表会へのお申込み時に、懇親会参加希望欄にご記入下さい。懇親会のみのお申込みも歓迎します。

交通工学研究会 自主研究活動報告と受託研究のご案内 平成 29 年 8 月 8 日(火)13 時 30 分 ~

交通工学研究会で公益事業の一環として実施している自主研究活動のうち、現在活動中の公募型自主研究の活動経過をデモンストレーション会場で説明いたします。発表会 1 日目の昼休み終了直後の 30 分間に第 1 会場にて、平成 28 年度末に終了した基幹研究「(日本型)道路交通安全監査」(代表: 赤羽弘和千葉工業大学教授)の成果について報告します。さらに、当会で積極的に進めている官公庁、自治体、道路会社、民間企業、関連団体等との共同研究・受託研究について、これまでの事例や実施に際しての手順などについてご案内しますので、皆様奮ってご聴講ください。

第 7 回 TOP/TOE 会 平成 29 年 8 月 9 日(水)12 時 30 分 ~

2 日目の昼休みには、同会場 4 階 142 教室において TOP/TOE 資格登録者および学識者と交流して頂く「第 7 回 TOP/TOE 会」を開催いたします。申込方法等詳細は別紙開催案内をご覧ください。

交通工学研究会 個人会員入会キャンペーンのお知らせ

当会では、7 月 1 日 ~ 7 月 31 日に個人会員への入会手続き頂いた方に限り、第 37 回交通工学研究発表会参加費を免除するキャンペーンを実施いたします(論文集 CD-ROM は実費頒布)。この機会に是非個人会員への入会をご検討ください。詳しくは、ホームページをご覧ください。

当会出版の書籍について

会場では、当会の書籍を割引価格にて販売いたしております。この機会に図書販売コーナーへ是非お越しください。

第 7 回若手交流会 平成 29 年 8 月 7 日(月)無料

研究発表会にて発表予定の方には、発表の予行演習の場としても有効にお使い頂けます。若手実務者・研究者・学生の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。申込方法等詳細は別紙開催案内をご覧ください。

お申込み・お問合わせ

一般社団法人 交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MK ビル 5 階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718

参加希望の方は事前にお申込みをお願いいたします。

当日の受付の混雑緩和のためご協力をよろしくをお願いいたします。

第37回交通工学研究発表会 参加申込書

申込先 FAX 番号 : 03-6410-8718

勤務先住所	〒		電話番号		
勤務先名称					
参加者氏名	所属部課名	会員区分(印)	会員番号	懇親会参加(印)	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
希望の支払い方法に	その他(請求書発行に関する宛名・日付等のご要望など)				
請求払い	現金払い				

7月下旬より順次、論文集(CD-ROM)と共に参加カード等書類をお送りいたしますので(請求払い希望の方へは、見積書・請求書・納品書も同封)、お手元に書類が届き次第、ご確認をお願いいたします。

参加カードは当日、名札と引換となりますので、必ずお持ちください(お忘れの場合、受付でお待ちいただく事もあります)。

8月4日になっても書類が届かない場合は事務局までご連絡ください。

お支払いは、請求払いを希望された方は、郵便振替または銀行振込にてお手続き願います(振込手数料はご負担願います)。現金払いを希望された方は、発表会の当日、受付でお支払い願います。お釣りの無い様ご準備願います。

お申込み後のお支払い方法の変更はご遠慮願います。

お申込み後、本人が止むを得ない理由により参加できなくなった場合、または代理の方に変更される場合は、必ず事前に事務局にご連絡をお願いいたします。

事前申込みをされた方で当日ご欠席された場合は、お申込み時に選択された支払い方法の参加費をお支払い願います。

悪天候時の対応など、緊急の連絡は、当会ホームページ <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。

8月4日(金)正午までに確認ができたお申込み分については、論文集(CD-ROM)及び書類等を事前発送いたします。それ以降にお申込みの方は、当日渡しとなりますので、会場受付でお申込み人のお名前をお伝えください。

会場案内図 住所：千代田区神田駿河台 1-8-14(日本大学理工学部 1号館)



交通のご案内

アクセス

- ・JR 中央・総武線 御茶ノ水駅(聖橋口)徒歩 3分
- ・東京メトロ 御茶ノ水駅(出入口 2)徒歩 5分
- ・東京メトロ 新御茶ノ水駅(出入口 B3b)徒歩 3分
- ・都営新宿線 小川町駅(出入口 B5)徒歩 4分

乗り換え案内

- ・東京駅から(約 10分)
東京駅 - <JR 中央線または東京メトロ丸ノ内線> - 御茶ノ水駅
- ・羽田空港から(約 50分)

【モノレール】

- 羽田空港(第1ビル・第2ビル)駅 - <東京モノレール> - 浜松町駅 - <JR 山手線または京浜東北線> - 東京駅 - <JR 中央線> - 御茶ノ水駅

【京浜急行】

- 羽田空港国内線ターミナル駅 - <京浜急行線(都営浅草線直通)> - 三田駅 - <都営三田線> - 神保町駅 - <都営新宿線> - 小川町駅

第37回交通工学研究発表会 第1日目【2017年8月8日(火)】プログラム

発表10分、質疑12分 ○は発表者

《第1会場(3階131教室)》

《第2会場(3階134教室)》

《第3会場(4階141教室)》

《第4会場(4階144教室)》

1. 交通制御・規制・取締り 座長: 松本 幸正(名城大学) 副座長: 児玉 崇(阪神高速道路株)			
10:00	1 米国にみる減灯した交通信号機の代替策 (実務論文)	○塚田 悟之	日産自動車株
10:23	2 取締り活動と事故抑制の関係に関する研究	○下田 康貴 森本 章倫	早稲田大学 早稲田大学
10:46	3 取締り計画に着目した交通取締りの地域比較	○河野 誉史 森本 章倫	早稲田大学 早稲田大学
11:20	4 Operational Performance Evaluation of Four-leg Intersection Control Types	○Abubeker Nemo Arshi Hideki Nakamura Xin Zhang	Nagoya University Nagoya University Nagoya University
11:43	5 UAVを用いた実測に基づく多様な平面交差点制御方式の評価	安藤 幹哉 ○田中 伸治 中村 文彦 三浦 詩乃	岐阜県東郡土木事務所 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学
12:06	6 高速道路におけるドライバーの規制速度遵守意識の分析	○澤村 悠貴 塩見 康博 山本 隆 山本 浩司	神戸大学 立命館大学 中日本高速道路株 中日本高速道路株

5. 交通安全(1) 座長: 小林 寛(国土技術政策総合研究所) 副座長: 井料 美帆(名古屋大学)			
30	都道府県の特性を考慮した高齢者の交通安全対策に関する考察	○西堀 泰英 嶋田 喜昭	(公財)豊田都市交通研究所 大同大学
31	交通事故データによる高齢運転者の法令違反に影響を及ぼす要因分析	○楊 甲 西堀 泰英 安藤 良輔 樋口 恵一	(公財)豊田都市交通研究所 (公財)豊田都市交通研究所 大同大学
32	リアルタイム安全アドバイシステムの高齢運転者講習への応用	○小坂田 光 多田 昌裕 岡田 昌也 蓮花 一己	近畿大学 近畿大学 静岡大学 帝塚山大学
33	ドライバーの自動車運転傾向に関する要因分析	○海野 遥香 張 宇陽 橋本 成仁	岡山大学 岡山大学 岡山大学
34	学生の通学自転車を対象とした生活道路流入抑制のための法定外標識に対する利用者の意識と効果の分析	○木部 大紀 小川 圭一	大阪大学 立命館大学
35	「飛び出し坊や」の設置状況の実態調査と設置方法に関する問題点の抽出	○小川 圭一 田中 笙太 西河 大貴	立命館大学 横濱銀行 ジェイアール東海建設株

9. 駐車管理 座長: 瀬戸下 伸介(国土技術政策総合研究所) 副座長: 倉内 慎也(愛媛大学)			
59	集計QKを用いたSA案内誘導設備設置前後の駐車場の流動性評価	○赤川 貴寛 田中 伸治 中村 文彦 三浦 詩乃 山本 隆 山本 浩司	横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 中日本高速道路株 中日本高速道路株
60	大規模休憩施設における駐車場車両誘導案内システムの導入効果	○山本 隆 西川 洋介 野島 友明 佐藤 久長 山本 浩司 山本 浩司 高橋 秀喜 田中 伸治	中日本高速道路株 中日本高速道路株 中日本ハイウェイエンジニアリング東京株 中日本ハイウェイエンジニアリング東京株 中日本高速道路株 中日本高速道路株 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋株 横浜国立大学
61	路外駐車場の換気基準の見直しについて (実務論文)	○川村 俊	奈良県
62	自転車レーン設置が計画されている白山通り東鴨地区における路上駐車の時空間変動	○谷下 雅義 大野 暁彦	中央大学 名古屋市立大学
63	都心商業地域での路上駐車規制時間の設定に関する調査研究	○堂柿 栄輔 梶田 佳孝 築瀬 範彦	北海道大学 東海大学 足利工業大学
64	仮設団地における駐車場問題の把握と改善提案: 熊本地震における益城町の事例 (実務論文)	松尾 啓史 ○佐藤 嘉洋 円山 琢也	熊本大学(現:熊本市役所) 熊本大学 熊本大学

13. 公共交通(1) 座長: 遠藤 玲(芝浦工業大学) 副座長: 山田 大輔(国土交通省都市局)			
87	公共交通に関する計画策定の現状と課題	○高橋 佑輔 日野 泰雄 内田 敬 有本 彩華	大阪市立大学 大阪市立大学 大阪市立大学 三井住友カード株
88	公共交通情報提供による利用者の行動特性分析-京都市「歩くまち京都」アプリを事例として-	○安 隆浩 山口 敬介 小川 圭一	立命館大学 榊九電工 立命館大学
89	屋外実験に基づいた心理的影響を考慮した快適なバス停照明についての研究	○鈴木 春菜 本田 達郎	山口大学 復建調査設計株
90	生活交通としてのタクシーの選択性向上に関する実証分析	○吉田 樹	福島大学
91	前橋市の相乗りグループタクシー「マイタク」の利用特性と課題 (実務論文)	○森田 哲夫 三本木 樹希 湯沢 昭 目黒 力 塚田 伸也	前橋工科大学 東鉄工業株 前橋工科大学 群馬バース大学 前橋市
92	過疎地域における自家用有償旅客運送車両を用いた人流・物流サービス統合に向けた事業者間調整に関する事例報告-宮崎県西米良村での貨客混載サービス「ホイホイ便」実証運行を対象として- (実務論文)	○白石 悦二 牧 幸洋 吉武 哲信	日本工営株 西米良村 九州工業大学

13:30 《第1会場》に於いて、交通工学研究会で公益事業の一環として実施している自主研究活動のうち、平成28年度末に終了した基幹研究「(日本型)道路交通安全監査」(代表: 赤羽弘和千葉工業大学教授)の成果について報告します。
14:00 さらに、当会で積極的に進めている官公庁、自治体、道路会社、民間企業、関連団体等との共同研究・受託研究について、これまでの事例や実施に際しての手順などについてご案内しますので、皆様奮ってご聴講ください。

2. 交通流 座長: 中村 英樹(名古屋大学) 副座長: 岡田 良之(株長大)			
14:05	7 Experimental Investigation of Pedestrian Queue Formations before Different Types of Bottlenecks	○Zhang Jiahua Miho Iryo-Asano Dias Charitha	The University of Tokyo Nagoya University The University of Tokyo
14:28	8 渋滞時の加速挙動に着目した走光型視線誘導システムの影響分析	○渡邊 秀 柳原 正実 小根山 裕之	首都大学東京 首都大学東京 首都大学東京
14:51	9 阪神高速道路における速度回復誘導灯の効果検証と効率的な運用方法について (実務論文)	○増本 裕幸 飛ヶ谷 明人 児玉 崇 北澤 俊彦 鈴木 健太郎 友枝 ゆかり 李 電煥	阪神高速道路株 阪神高速道路株 阪神高速道路株 阪神高速道路株 阪神高速道路株 榊田未来研究所 榊田未来研究所
15:14	10 東名阪自動車道における渋滞遷移現象に関する考察 (実務論文)	○立松 和憲 木村 真也 米川 英雄	中日本高速道路株 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋株 中日本高速道路株

6. 交通安全(2) 座長: 山中 英生(徳島大学) 副座長: 海老澤 綾一(警視庁)			
36	都市高速道路における交通安全対策効果の長期的傾向に関する研究	○後藤 大輝 中村 康之 宇野 伸宏	京都大学 京都大学 京都大学
37	都市高速道路におけるリアルタイム交通事故予測モデルを利用した安全対策に関する研究 (実務論文)	○小島 俊平 室町 泰徳	パシフィックコンサルタンツ株 東京工業大学
38	38 歩車混合を考慮したセルベース最適津波避難モデル	○竹居 広樹 奥村 誠	東北大学 東北大学
39	39 死亡事故リスクに基づく予防対策箇所の優先順位付け手法の有効性	○加藤 秀樹 福本 雅之	(公財)豊田都市交通研究所 (公財)豊田都市交通研究所

10. 都市交通調査とデータの応用 座長: 佐々木 邦明(山梨大学) 副座長: シン ジャン(株高速道路総合技術研究所)			
65	ETC2.0プローブ情報を活用した環状道路ネットワーク交通状態把握手法によるケーススタディ	○後藤 梓 松田 奈緒子 山田 康右 堀口 良太 吉田 秀範 榊 真	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 パシフィックコンサルタンツ株 アイ・トランスポート・ラボ 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所
66	ETC2.0プローブデータによるリアルタイム渋滞情報生成に関する一考察 (実務論文)	○澤田 英郎 大園 守道 村上 貴行 松本 猛秀	西日本高速道路エンジニアリング関西株 西日本高速道路株 西日本高速道路株 榊片平エンジニアリング
67	67 商用車プローブデータを用いた豪雨災害時の渋滞状況の分析	○福西 翔太 早川 聡一郎 塩見 康博	立命館大学 立命館大学 立命館大学
68	68 定点観測データを用いた観光都市の目視的な渋滞状況の把握と予兆検出 (実務論文)	○杉田 正俊 福本 紗千	(公財)日本道路交通情報センター (公財)日本道路交通情報センター

14. 公共交通(2) 座長: 原田 昇(東京大学) 副座長: 吉田 樹(福島大学)			
93	93 サービスの多様性を考慮したアクセシビリティの評価モデル	○喜多 秀行 山崎 知詩 四辻 裕文	神戸大学 東京急行電鉄株 神戸大学
94	94 客観的バス停アクセス距離と人口空間分布に基づくバス需要推計の精度検討	○遠藤 玲 田中 寛朗 大寺 祐輝 渡会 雄也 鷲津 弘明 秋山 祐樹	芝浦工業大学 榊エイト日本技術開発 埼玉県庁 柏市役所 芝浦工業大学 東京大学
95	95 ゾーン細分化による鉄道・バス一体配分手法の改善	○高園 敏徳 遠藤 玲	芝浦工業大学 芝浦工業大学
96	96 空間人口分布を考慮した私事目的バス停単位需要推計手法の適用性の検討	○鷲津 宏明 遠藤 玲 秋山 祐樹	芝浦工業大学 芝浦工業大学 東京大学

デモンストレーション & 自主研究活動報告<デモ有り>表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場(3階132教室)

16:10	11 ACC車両の混在比率が異なる交通流の安全性・円滑性評価	飯田 克弘 ○和田崎 泰明 多田 昌裕 筑後 智弘 安 時亨 澤田 英郎 紀ノ定 保礼	大阪大学 日本工営株 近畿大学 近畿大学 西日本高速道路エンジニアリング株 西日本高速道路エンジニアリング株 静岡理工科大学
16:33	12 車線変更挙動と交通流の関係に関するシミュレーション分析	○劉 彬 柳原 正実 小根山 裕之	東京工業大学 首都大学東京 首都大学東京
16:56	13 車両感知器整備減少を背景とした交通情報生成方式の評価 (実務論文)	○岩岡 浩一郎 弘津 雄三 草間 信幸	パナソニックシステムソリューションズジャパン株 パナソニックシステムソリューションズジャパン株 神奈川県警本部
17:19	14 一般道における路線QVを用いた速度推定モデル	○坪田 隆宏 吉井 聡雄 原田 日郎 神野 裕昭	愛媛大学 愛媛大学 神戸大学 株建設技術研究所

40	40 ETC2.0データを用いた生活道路における事故リスク算定手法	○尾高 慎二 吉井 稔雄 神戸 信人	株オリエンタルコンサルタンツ 愛媛大学 株オリエンタルコンサルタンツ
41	41 対面通行生活道路における連続型狭さく設置効果分析	嶋田 喜昭 ○山田 真未	大同大学 豊田市役所
42	42 バリアフリーに着目した交差点ハンブの形状および有効性に関する研究	○外山 紘己 小嶋 文 都築 輝彦 長泉 泰介 伏見 孝一 三浦 哲也 古城 雅史 北川 大喜 久保田 尚	静岡県沼津土木事務所 埼玉大学 さいたま市 さいたま市 さいたま市 株エイト日本技術開発 株エイト日本技術開発 株エイト日本技術開発 埼玉大学
43	43 市街地におけるプロビーム道路照明の配光に関する研究開発	○萩原 亨 草竹 大輝 浜岡 秀勝 江湖 俊介 藤 麻起子 岡嶋 克典 小林 正正	北海道大学 北海道大学 秋田大学 岩崎電気株 岩崎電気株 横濱国立大学

69	69 機械学習とスマートフォンを用いた道路の損傷画像のリアルタイム検出と維持管理基準の作成	○前田 結弥 関本 義秀 瀬戸 寿一 榊山 武浩 小俣 博司	東京大学 東京大学 東京大学 東京大学 東京大学
70	70 個別車両の挙動の影響把握を目的とした画像センシングによる車両軌跡データの生成検討 (実務論文) <デモ有り>	○児玉 崇 飛ヶ谷 明人 増本 裕幸 鈴木 健太郎 中西 雅一 田名部 淳	阪神高速道路株 阪神高速道路株 阪神高速道路株 阪神高速道路株 榊田未来研究所 榊田未来研究所
71	71 中心市街地における受動赤外線型自動計測器を用いた歩行者交通量の分析 (実務論文)	○長田 哲平 加納 壮貴 大森 宣実 古池 弘隆	宇都宮大学 宇都宮大学 宇都宮大学 宇都宮共和大学
72	72 画像解析技術を用いた歩行者流動把握手法に関する研究 (実務論文)	新階 寛恭 ○吉田 純士 三浦 清洋 豊田 将嘉 岩崎 正久 渡辺 英俊 池田 浩雄 貫浦 一馬	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 (公社)日本交通計画協会交通計画研究所 (公社)日本交通計画協会交通計画研究所 株国際開発コンサルタンツ 株国際開発コンサルタンツ 日本電気株 日本電気株

97	97 施設集積率の違いにみる拠点間公共交通所要時間の実態分析-「コンパクト+ネットワーク」に着目して-	○森本 瑛士 越川 知 山口 谷	筑波大学 筑波大学 筑波大学
98	98 都市内交通のトランスポートモードギャップ解消に向けた索道の役割に関する研究	○早内 玄 中村 文彦 田中 伸亮 有吉 三浦 詩乃	横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学
99	99 郊外住宅地の持続可能性を担う域内交通システムへの役割に関する研究 ~ユーカリが丘を事例として~	○山口 菜乃 中村 文彦 田中 伸亮 有吉 三浦 詩乃	横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学
100	100 住民主体の生活交通導入地区における「支える側の意識」と主観的幸福感との関係に関する研究	○橋本 成仁 ○恒藤 佑輔	岡山大学 岡山大学

第37回交通工学研究発表会 第2日目【2017年8月9日(水)】プログラム

発表10分、質疑12分 ○は発表者

《第1会場(3階131教室)》

《第2会場(3階134教室)》

《第3会場(4階141教室)》

《第4会場(4階144教室)》

3. 情報提供・運転支援 座長:内田 敬(大阪市立大学) 副座長:鈴木 弘司(名古屋工業大学)			
9:30	15	道路案内誘導効果の評価のための案内標識のデータベースの構築	○大塚 康司 外井 哲志 三原 凱士 株式会社技術研究所 九州大学 九州大学
9:53	16	信号情報に対する反応ドライバーが信号交差点通過に及ぼす影響の分析	○西尾 和也 松本 幸正 名城大学 名城大学
10:16	17	音声カーナビゲーションのための交差点形状に応じた情報提供内容に関する研究	○井料 美帆 安部 信一 越智 満 名古屋大学 (一財)道路交通情報通信システムセンター (一財)道路交通情報通信システムセンター
10:39			
10:50	18	吹雪の視程予測と現地観測データとの比較 (実務論文)	○園分 徹哉 武知 洋太 大宮 裕介 原田 松勝 土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所
11:13	19	判断性評価に基づく2事象を提示する情報板表示の改善	○飯田 克弘 ○鈴木 彩希 和田 泰明 佐藤 久長 糸島 史浩 大阪大学 エイチーム㈱ 日本工営㈱ 中国ハイウェイエンジニアリング東京㈱ 中国ハイウェイエンジニアリング東京㈱
11:36	20	高速道路のJCT部における図形情報板の表示情報量に関する検討	○成嶋 晋一 Jian XING 村重 至康 後藤 秀典 大近 翔二 細見 裕基 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所
11:59	21	経路検索サービスを通じた制御の実践と課題 (実務論文) <デモ有り>	○太田 恒平 株式会社ナビタイムジャパン
12:22			

7. 自転車交通 座長:日野 泰雄(大阪市立大学) 副座長:高砂子 浩司((一財)計量計画研究所)			
	44	自転車のルール違反の取り締まり強化に関わる法改正に対する当事者意識の分析	○坂本 淳 高知大学
	45	交差点での自転車挙動からみた細街路における自転車走行指導帯の整備効果	○山中 英生 溝口 啓輔 三國 成子 小島 拓郎 徳島大学 西日本旅客鉄道㈱ 地球の友・金沢 西日本高速道路エンジニアリング関西㈱
	46	ドライバーからみた自転車専用通行帯の景観性・視認性と路面着色方法の関係	○古城 秀治 辰巳 浩 堤 香代子 土師 健介 福岡大学 福岡大学 福岡大学 国土交通省近畿地方整備局
	47	車道走行する自転車が自動車 の走行速度に及ぼす影響に関する研究	○辰巳 浩 古城 秀治 堤 香代子 田代 太貴 原田 翔太 福岡大学 福岡大学 福岡大学 八千代エンジニアリング㈱ 国土交通省九州地方整備局
	48	車道端部の路面構造が自転車 利用者の意識と挙動に及ぼす影響に関する研究	○西原 大樹 辰巳 浩 古城 秀治 森 亮太 畑中 浩太郎 元・福岡大学(現・株式会社) 福岡大学 福岡大学 株式会社イーヨー 株式会社イーヨー
	49	自転車の通行位置に着目した自転車 関与と事故分析 (実務論文)	○海老澤 綾一 椎名 啓雄 警視庁 警視庁
	50	ドライブレコーダーデータを活用した歩道における自転車の双方 通行に関するヒヤリハット分析	○原田 憲武 稲垣 具志 小早川 悟 日本大学 日本大学 日本大学

11. 交通容量・サービス水準 座長:大口 敬(東京大学) 副座長:荒川 太郎(首都高速道路㈱)			
	73	Influence of Downstream Conditions over Saturation Flow Rate	○Abdul Hannan Hashemi Hideki Nakamura Azusa Goto Nagoya University Nagoya University National Institute of Land and Infrastructure Management
	74	「交差点マネジメント」の有効性に関する研究ー福島県郡山市における渋滞緩和策の効果に着目してー (実務論文)	○高濱 康 原田 昇 高見 淳史 郡山市役所 東京大学 東京大学
	75	中間速度を実現するための道路構造条件の分析	○下川 澄雄 小山田 直弥 吉岡 慶祐 森田 純之 日本大学 川崎市役所 日本大学 日本大学
	76	単路部ボトルネックにおける自動 走行車両への介入制御による遅れ時間最小化の可能性	○塩見 康博 兒玉 崇 北澤 俊彦 飛ヶ谷 明人 増本 裕幸 眞貝 憲史 田名部 淳 立命館大学 阪神高速道路㈱ 阪神高速道路㈱ 阪神高速道路㈱ 阪神高速道路㈱ 阪神高速道路㈱ 株式会社未来研究所 株式会社未来研究所
	77	動的・静的道路交通環境を考慮したボトルネック交通容量推定と渋滞発生メカニズムに関する分析 (実務論文)	○金 進英 兒玉 崇 北澤 俊彦 嶋田 真尚 大藤 武彦 株式会社システム研究所 株式会社システム研究所 株式会社システム研究所 株式会社システム研究所 株式会社システム研究所
	78	片側2車線道路における付加道 越車線方式の施行運用 (実務論文)	○川島 陽子 田中 真一郎 近田 博之 石田 貴志 野中 康弘 中日本高速道路㈱ 中日本高速道路㈱ 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋㈱ 株式会社道路計画 株式会社道路計画

15. 交通行動分析 座長:奥村 誠(東北大学) 副座長:日下部 貴彦(東京大学)			
	101	マルチエージェント型微視的 交通流シミュレータを組み込んだ OD推定手法の開発	○阿部 和規 藤井 吉村 秀樹 忍 東京大学 東京大学 東京大学
	102	ETC2.0プローブデータに基づく 都市間高速道路の休憩施設選 択行動モデルの構築	○平井 Jian XING 甲斐 慎一郎 堀口 良太 宇野 伸宏 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所
	103	ETC2.0プローブ情報を活用した 首都高PA利用傾向分析 (実務論文)	○佐々木 卓 高橋 真人 木下 哲男 神納 大輝 菅野 寛政 田中 伸治 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所
	104	岡山市圏における局所的渋滞 対策へのモビリティ・マネジメント の適用と効果の検証 (実務論文)	○谷口 雄一郎 池田 智 藤田 和志 尾高 慎二 土崎 伸 国土交通省岡山国道事務所 国土交通省中国地方整備局 国土交通省岡山国道事務所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所
	105	公用車の長期GPSデータを用いた 利用分析と最適化の可能性 ～はたらく車プロジェクトを通じ て～	○小原 光暁 榎山 清浩 藤田 義秀 小俣 博司 東京大学 東京大学 東京大学 東京大学
	106	交通拠点の回避トリップに基づく 移動勢力圏アクセシビリティ指 標と勢力圏内活動量の評価分 析ー長野都市圏の鉄道駅を対 象としてー	○巨 陽平 柳沢 吉保 直井 直希 成沢 紀由 高山 純一 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校
	107	室内実験による地震発生時の行 動規範認知の車両速度への影 響分析	○松本 美紀 中村 俊之 宇野 伸宏 増本 裕幸 兒玉 崇 北澤 俊彦 京都大学 京都大学 京都大学 阪神高速道路㈱ 阪神高速道路㈱ 阪神高速道路㈱

4. 運転者認知・挙動 座長:田久保 宣晃(科学警察研究所) 副座長:中村 俊之(名古屋大学)			
13:30	22	アナモルフォーシスを用いた逆 走対策路面立体標示のデザイン (実務論文) <デモ有り>	○永見 豊 岩里 幸 鈴木 晴子 井上 徹 拓殖大学 阪神高速道路㈱ 拓殖大学 阪神高速技術㈱
13:53	23	フィールド実験による路面側面 表示の配列効果に関する一考 察 (実務論文)	○米村 圭一郎 松本 猛秀 四辻 裕文 喜多 秀行 株式会社平エンジニアリング 株式会社平エンジニアリング 株式会社平エンジニアリング 株式会社平エンジニアリング
14:16	24	灯器位置に着目した信号切り替 わり時の運転挙動に関するDS 実験	○松田 啓輔 柳原 正実 小根山 裕之 首都大学東京 首都大学東京 首都大学東京
14:39	25	車列変化がおよぼす後続車運 転挙動変化の交互作用を考慮し た評価	○長濱 章仁 柳澤 大地 西成 活裕 東京大学 東京大学 東京大学
15:02	デモンストレーション & 自主研究活動報告<デモ有り>表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。		
15:30	26	般化に着目したドライビングシ ミュレータにおけるドライバーの 停止行動分析	○白柳 洋俊 坪田 隆宏 倉内 慎也 吉井 稔雄 田地 竣 愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学
15:53	27	ドライブレコーダーの常時撮影 映像等を活用した危険運転発生 特性に関する分析	○安藤 章 関 健照 株式会社建設総合研究所 株式会社建設総合研究所
16:16	28	アイカメラを用いた高齢者の一 般道における運転行動解析	○日置 幸希 多田 昌裕 飯田 克弘 岡田 昌也 蓮花 一己 近畿大学 近畿大学 大阪大学 静岡大学 帝塚山大学
16:39	29	アイカメラを用いたバス運転手 の公道上運転行動解析	○大谷 真弘 多田 昌裕 岡田 昌也 近畿大学 近畿大学 静岡大学
17:02			

8. 歩行者交通 座長:久保田 尚(埼玉大学) 副座長:山口 敏之(セントラルコンサルタント㈱)			
	51	子どもの道路横断判断にまつわ る保護者の実態認識に関する実 験的研究	○府川 阿佐美 稲垣 具志 小早川 悟 寺内 義典 日本大学 日本大学 日本大学 国土館大学
	52	単路部における無信号二段階横 断方式の評価	○石山 良太 後藤 梓 中村 英樹 名古屋大学 元・名古屋大学(現・国土技術政策総合研究所) 名古屋大学
	53	無信号単路部における二段階横 断のための交通島の幾何構造と 歩行状況に関する研究	○大橋 幸子 関 皓介 瀬戸下 伸介 国土技術政策総合研究所 前・国土技術政策総合研究所 (現・株式会社平エンジニアリング) 国土技術政策総合研究所
	54	二段階横断施設における歩行者 の心的負担と車両の譲り行動に 関する実証分析	○鈴木 弘司 山口 佳起 ○加藤 明里 名古屋工業大学 三重県建設事務所 株式会社総合技術研究所
	55	運転者の合図が無信号横断歩 道における歩行者の横断行動に 与える影響 (実務論文)	○森 健二 矢野 伸裕 科学警察研究所 科学警察研究所
	56	歩行者青残り時間秒数表示が 歩行者の行動に与える影響 (実務論文)	○横関 俊也 森 健二 矢野 伸裕 科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所
	57	パーソナルモビリティに対する歩 行者の認知に着目したウェア チャルリアリティの適応可能性の 検討	○長谷川 悠 井料 美帆 東京大学 名古屋大学
	58	視覚障害者の外出意欲を扶ける 道草案内とNFC応用による歩行 支援ナビの拡充	○足立 佑貴 内田 敬 菅 芳樹 沢田 有美恵 大阪府 大阪市立大学 株式会社総合技術研究所 大阪市

12. 道路計画・道路構造 座長:外井 哲志(九州大学) 副座長:塩見 康博(立命館大学)			
	79	シングルグリッドネットワークに おけるグリッドロック抑制制御に 関する検討	○岩岡 浩一郎 パナソニックシステムソリューションズジャパン㈱
	80	経路抽出ツールを用いたネット ワークの冗長性・脆弱性の定量 的評価方法 (実務論文)	○西岡 友樹 ○白石 智良 小島 智己 佐々木 卓 首都高速道路㈱ 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所
	81	細街路交通量推計時の細街路 区分の提案	○小林 貴 島川 陽一 鹿島 茂 中央大学 サレジオ工業高等専門学校 中央大学
	82	実道路ネットワークと傾向誤差を 修正したOD交通量を用いた配 分計算による細街路走行率の計 算 (実務論文)	○島川 陽一 小林 貴 鹿島 茂 サレジオ工業高等専門学校 中央大学 中央大学
	83	パーソナルモビリティの導入を考 慮した道路空間再配分に関する 研究	○平野 秀也 田中 伸治 有吉 亮 中村 文彦 三浦 詩乃 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学
	84	米国の事故多発ラウンドアバウト における交通現象解析 (実務論文)	○塚田 悟之 日産自動車㈱
	85	ラウンドアバウトの幾何構造が 走行挙動特性に与える影響に関 する分析	○吉岡 慶祐 中村 英樹 下川 澄雄 森田 純之 日本大学 名古屋大学 日本大学 日本大学
	86	交差点規模が安全性に及ぼす 効果の巨視的・微視的分析	○川淵 翔太郎 飯田 翔生 西川 尚志 藤井 駿 長尾 智之 赤羽 弘和 株式会社総合技術研究所 元・千葉工業大学 株式会社総合技術研究所 株式会社総合技術研究所 国土交通省 千葉工業大学

16. 都市交通計画 座長:高山 純一(金沢大学) 副座長:関本 義秀(東京大学)			
	108	中国におけるバイクシェアリング の導入・運営に関する実態	○齋 仕怡 三浦 清洋 春月 秀仁 谷口 守 筑波大学 (公社)日本交通計画協会交通計画研究所 筑波大学 筑波大学
	109	カンボジア・フノンベンにおける 高校及び大学生の自動二輪車 運転挙動に関する分析	○小柳 俊樹 吉田 長裕 北村 友人 大阪市立大学 大阪市立大学 東京大学
	110	人口流動統計データを用いた交 通エネルギー消費量の推計に 関する基礎的研究	○山下 伸 ○洪川 剛史 森本 章倫 株式会社総合技術研究所 早稲田大学 早稲田大学
	111	交通環境の定量化と住民の身 体活動に与える影響に関する研 究	○遠山 将也 澤田 茜 ○佐々木 邦明 紅林 哲 株式会社総合技術研究所 山梨大学 山梨大学 静岡県庁
	112	「道の駅」における地域福祉機能 の需要に関する研究	○伊勢 昇 湊 絵美 和歌山工業高等専門学校 和歌山工業高等専門学校
	113	方向別来台数の算出手法に着 目した大規模小売店舗の交通ア セスメントに関する研究	○田部井 優也 長田 哲平 大森 宣暁 宇都宮大学 宇都宮大学 宇都宮大学
	114	前橋市を事例とした不審者情報 による防犯対策の検討	○塚田 伸也 森田 哲夫 湯沢 昭 前橋市 前橋工科大学 前橋工科大学

於)デモ会場(3階132教室)